

「きたひろしま市民会議」について

1 目的

北広島市の今後のまちづくりにおいて、社会情勢・経済状況の変化などに対応していくことは当然ですが、何よりも市民意識を踏まえることが大切です。そのため、市民意識調査や現状分析を実施していますが、市民参加の一つの手法である無作為抽出による市民会議を開催し、市民が何を行政に求めているのか、今の行政に何が重要であるかなどの意見を聞き取る機会とし、今後のまちづくりの基礎資料とするものです。

2 対象者

北広島市に住む 18 歳以上の男女 30 名

3 開催時期

平成 28 年 12 月 3 日（土）、4 日（日）の 2 日間

12 月 3 日 13 : 00 ~ 17 : 00 12 月 4 日 9 : 00 ~ 12 : 00

4 開催場所

北広島市図書館 2 階 AV ルーム

5 謝礼金

参加した市民に対し日額 2,500 円を謝礼として支払う。

6 市民会議のスケジュール

【12 月 3 日（土）】

受付時間 12 : 30 ~ 13 : 00

市民会議の開催 13 : 00 ~

事務局より会議日程の説明	13 : 00 ~ 13 : 10
基調講演	13 : 10 ~ 14 : 10
休憩（15 分）	
事務局よる会議の進め方の説明	14 : 10 ~ 14 : 30
公共交通について（90 分）	14 : 30 ~ 16 : 00
休憩（15 分）	16 : 00 ~ 16 : 15
グループ発表（各グループ 10 分）	16 : 15 ~ 16 : 55
事務局より翌日のスケジュール説明	16 : 55 ~ 17 : 00

【12月4日（日）】

受付時間 9：00～9：30

市民会議の開催 9：30～

事務局より会議日程の説明	9：30～9：35
定住人口増加について（90分）	9：35～11：05
休憩（15分）	11：05～11：20
グループ発表（各グループ10分）	11：20～12：00

- ・テーマに係る資料（市の主な取り組み、現状データなど）を11月18日頃に送付いたします。
- ・ブレインストーミングに時間を割くため、参加者の皆さんにはフセン紙を送付し、事前に記載していただくよう案内いたします。

7 基調講演

講師：鈴木 聡士 氏（北海学園大学教授、北広島市総合計画推進委員会委員）

8 会議テーマ

- ① 公共交通について
- ② 定住人口増加について

9 総合計画推進委員会委員の役割

各グループ内に1名の委員を配置し、グループ内のファシリテーターになっていただきます。テーマに対する思い・考えをそれぞれ出してもらい、課題については、その解決方法などについても議論を深めていただきます。

10 グループ討議の流れ

※参加者の配置については、日により変更します。

- ・自己紹介（推進委員が仕切る）
- ・テーマ会議（意見が出やすい雰囲気を推進委員が作る。）

※思い・考えを記載したフセン紙の内容を発表して模造紙に貼り付けます。

※出された思い・考えに対して議論を深めません（各自の意見を尊重する）。

※他の方の話を聞いて、新たな考えなどを思いついたら、随時フセン紙に書き出し、追加発表を出してもらうようにします。

※最終段階では、出された意見を内容別に分類します。

※模造紙は白紙の状態ですので、まとめの際にテーマ名や、内容分けした分類名などを用意していますマジックで記載してください。

- ・グループ発表

- ※発表者は推進委員以外の市民の方をお願いします。

- ※発表者は1名でも複数名でも可

- ※発表はフセン紙を張った模造紙を活用してください。

- ※出された意見を全て発表するのではなく、分類ごとの代表的な意見の発表とします。

【職員の配置】

- ・進行 1名

- ・ファシリテーター 1名

- ・各グループの補助 2名

- ⇒グループ討議に参加するのではなく、参加者からの質問に対する対応

- ・物品の補充、場内の写真撮影等 2名程度

11 出された意見の取り扱い

市民会議で導き出された思い・考えなどについての総括は行わず、今後のまちづくりの際の参考資料（基礎資料）とします。 ※まとめは事務局で実施



